

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年1月10日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0895100048		
法人名	社会福祉法人 木犀会		
事業所名	花水木岩瀬館	ユニット名	大空
所在地	〒309-1211 茨城県桜川市岩瀬229-1		
自己評価作成日	平成23年5月25日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年7月21日	評価確定日	平成23年12月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人一人が、残された機能を維持して、自分らしく生活出来る様支援しています。 利用者様のペースに合わせて楽しく 笑顔のあるホームを目指し、自立支援の見極めを行い きめ細やかな支援を心がけています。
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は消防署や保育所、児童館、総合病院、スーパーなどが立地している生活環境に恵まれた住宅街の一角にあり、利用者は地域の一員として生活している。 職員は明るく笑顔で利用者に寄り添い、利用者が家庭的な雰囲気の中で生活が楽しめるよう支援をしている。 年2回避難訓練や消火訓練、通報訓練の総合訓練を実施しているほか、毎月避難訓練を実施し災害対策に取り組んでいる。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念また、ホームの理念を元に、共に生活する為、朝の申し送りやカンファレンスの際 共通理解に繋がるよう話し合い 実践している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念を管理者と職員で話し合い作成している。 朝の申し送り時や職員会議で話し合い、理念を共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度より、地区に入会した。地域のゴミ拾いに参加。、地区消防団の方々と避難訓練実施。こども100当番として、下校時の小学生が訪れています。	自治会に加入し利用者は職員と一緒に自治会の清掃活動に参加したり、地域の祭事に出かけている。 子ども110番に登録しており、下校時の小学生が怪我をした時や水をもらいに立ち寄っている。 地域の人々が事業所の運動会を見に来るほか、定期的に花を持参してフラワーアレンジメントの指導をしてくれている。 地域の子ども達による「よさこいダンス」の発表の場として事業所を提供している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター養成講座に参加。買い物などの支援の際 認知症になっても地域で変わる事無く生活する事が出来ることを、地域にアピールできている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動内容 入居者状況報告、行事見学を通しホームの理解に努めている。また 地域との交流につなげている。	運営推進会議は市職員や地域包括支援センター職員参加のもと2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。 会議では事業所の活動状況を報告したり委員からの質問に答えるなど、双方向的な話し合いとなっており、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	包括支援センターや介護長寿課と、利用者様の退所先の検討や対応に協力しあい無事移動する事ができた。地震の際、断水となり市と連絡を取り、給水車を施設まで来てもらった。	市担当者や地域包括支援センター職員に利用者の退所先を相談して確保するなど、連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜勤帯時 または、一人である時間以外は、施錠しない対応をしている。	職員は身体拘束の弊害を理解しており、利用者が外出を希望した場合は一緒に外出したり、見守ることで玄関を施錠せず抑圧感のない自由な暮らしを支援している。 職員に身体拘束をしないケアの共通理解は図られているが、定期的な研修は実施されておらずマニュアルも整備していない。	身体拘束排除に向けたマニュアルを作成するとともに、職員研修を実施することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	平成23年度より、法人全体で研修会があり、学ぶ機会ができる。職員会議の後 学ぶことができる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、ケアマネが、権利擁護に関する研修に参加した。 今後は、職員全体で研修したい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は、理解しやすいよう分かりやすく丁寧に説明を行い、納得した上で締結している。また、事前に契約書を読んで頂くこともあります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部評価のアンケートを参考に行っている。家族会にアンケート実施、家族の面会の際や電話等で意見をお聞きしている。	年2回、家族会を開催したり家族アンケートを実施しているほか、家族等の来訪時や電話連絡時に意見等を聴くように努め、利用者や家族等から出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	人事考課の際 管理者と面接を行い意見の交換をしている。代表者には、人事考課の書類に意見を記入する欄があり、希望等書いている。随時 意見を聞く体制をとるよう心がけています。	管理者は月1回の職員会議で職員の意見や提案を聞いている。 年2回法人本部と職員との面接の機会を設け、出た意見や提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則 給与規程がある。人事考課の際 意見を伝えることができる。大震災の際 慰労金が支給され、慰労の言葉を頂きました。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体で研修委員会を立ち上げ、職員全員が研修に参加できる体制である。ホームとしても、その場にあった勉強会を開催しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2ヶ月に1回 地域のグループホームで、連絡協議会を作り、情報交換や地域密着型の施設として、地域に貢献できる事を検討している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査や利用者様の情報を全職員が、確認しながら、不安や悩みを傾聴できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者 ケアマネ 職員が連携して、ご家族の話聞く機会を作り共感することから関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族に話しを聞いたり、事前調査に伺い、必要としている支援に繋がるようこころがけています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に楽しむ、共に暮らすと理念に掲げているように、共同で日常生活の作業を行い、利用者様に教えて頂くような事もあります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の協力して頂くことで、ホームでの生活が成り立っているため、家族と外出や受診の協力を得ています。季節の食材や本人の好物を持参して下さっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室へ出かける。知り合いの方々の面会など、今後も続けていきます。	馴染みの理・美容室の利用を支援したり、知人との面会を支援している。 初詣や地域のひな祭り、花見など、利用者が馴染みの場所に出かけられるよう年間行事計画に組み入れている。 馴染みの人や場所との関係が途切れないよう利用者の希望を聴き、墓参りなど希望にそった支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同のコミュニケーションが出来るよう、リビングにソファを用意して、くつろぐスペースを作りました。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御家族様とお会いした時は、話しを伺うが、支援、相談等はしていません		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の立場や生活暦など考え本人の訴えを聞き また 訴えられない方は、良く観察し思いを感じとる気持ち持ち、対応している。またカンファレンスや朝の申し送りにミニカンファを開催 職員の共通理解に努めている。	職員は思いを伝えられない利用者に対しても思いを感じ取る気持ちを持って接し、寄り添い、良く観察して思いや意向の把握に努めているが、把握した情報を全職員で共有するまでには至っていない。	日々の支援の中で聴き取ったり感じ取った利用者の思いを記録し、全職員が情報を共有できるように取り組むことを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族との話し、サマリーなどから情報を得ている。(面会者も含む)		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の中で生活レベルを見極め、その日の心身状態に合わせて対応している。職員の共通理解に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画のモニタリング、必要なニーズなど、担当職員に記入してもらい、ケアマネと職員が一緒になってプランを作成している。	担当職員と計画作成担当者が利用者や家族等の意見を聴き、カンファレンスを実施して介護計画を作成し、3ヶ月から6ヶ月でモニタリングを実施している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、日誌、朝の申し送り簿など、職員間で情報を共有 実践観察 検討して、見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	墓参り 自宅を見に行く ご主人と一緒に食事を食べるなどの支援をしています。 見学会 介護相談など受けています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティア等により訪問を受けています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と適切な関係を保ち、受診の様子を家族に伝え、家族の希望も聞き入れ、今後の対応につなげています。	利用前からのかかりつけ医への受診を支援しており、受診は家族等の付き添いを基本としているが、職員が付き添った場合は結果を家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はいませんが、日常変化のあった時は、速やかに受診しています。(今後 医療連携を予定しています)		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時は、速やかにサマリーを提出し、定期的な職員の面会、医師や看護師 家族と連携をとりながら対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療連携体制を整えている段階です。家族に十分説明し体制を整えていきます。	事業所は看取りをしない方針で、利用者が事業所での生活が困難になった場合には、家族等や医療関係者と相談して契約終了に伴う援助をすることを契約時に利用者や家族等に「重度化対応指針」で説明し同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全員が救命講習受講しています。今後も定期的に救命講習を開催していきます。急変事、事故発生のマニュアルがありますが、随時勉強会開催していきます。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月、避難訓練実施。地域の消防団に協力して頂き、避難訓練実施。マニュアルの勉強会 再確認。	年2回の総合訓練のほか毎月避難訓練を実施し、訓練後に反省会を開催して記録に残している。避難訓練に地区消防団の協力を得ているほか、近隣住民の参加を得ている。災害時に備えて食糧や飲料水、毛布などを備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人の研修で「接遇」について学び、それらを活かすことができるよう、機会が在るごとに話し合い、例えば、利用者様に適した話し方や声のトーンに付いて考えて仕事するようにしています。	職員は法人の研修で接遇について学び、適切な対応に努めている。 職員は守秘義務について理解しており、個人情報の取り扱いには十分注意をしている。 事業所便りへの利用者の写真掲載は、書面で家族等から同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	訴えの出来ない利用者様は、思いや希望を表現しやすいよう支援し、思いを汲み取るよう職員が決め細やかな気配りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の要望等を聞き 余暇などの時間の使い方を、決定できるようにしている。(散歩、日向ぼっこ、買い物など)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替える洋服を本人と一緒に決定したり、洋服の買い物と一緒にでかけ、決定してもらっています。美容室も馴染のところへ行っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感を取り入れた食材の時など、昔話をしながら食事を摂ったり、盛り付けや片付けなど、職員と一緒にこなっています。	昼食と夕食は食材宅配業者の献立となっているが、朝食は利用者と職員と一緒に食材の買い出しに行き、利用者の好みを献立に反映させている。 利用者が食事を楽しめるよう月1回季節の食材を取り入れた事業所独自の特別メニューを提供したり、弁当を持って花見や外出をしている。 利用者はできる範囲で下膳や食器洗い、食器拭きなどを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量の観察の必要な方は、記録調整をしています。体重管理の必要な方の調整など行なっています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後 口腔ケアは、行なっています。一人一人のレベルに合わせて、介助 見守りをしています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入所した時は、失禁が目立っていましたが、排泄のリズムを考え 声かけ、誘導をして、布パンツに変更した例があります。パットの量を減らしていく試みをしています。	職員は排泄チェック表を活用し利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子から察知して声かけやトイレ誘導を行うことで、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量 運動、寒天よせを作るなど、また 医師と相談して対応した結果、排便のリズムが整ってきています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の気分や状態に合わせて 無理する事無く入浴を楽しんで頂いています。	利用者の希望にそって毎日入浴ができる体制となっており、菖蒲湯や柚子湯などを取り入れて季節を感じながら入浴が楽しめるように工夫をしている。 入浴を嫌がる利用者には無理強いくることなく、言葉かけや対応の工夫をして入浴ができるように支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、安眠できるよう日中活動的に、散歩等でお日様にあたり 体を動かしております。特に 夕方の寂しく感じる時間帯を ゆっくり穏やかに、コミュニケーションを取る様心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	名前、時間帯(朝 昼 夕)を確認して、間違いのないよう服薬支援しています。服薬の変更などある場合は、記録 申し送り、その後の状態など観察しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや食器拭き、洗濯干し、洗濯たたみ、お掃除など職員と一緒に 行い また ドライブ 買い物 塗り絵 掲示物の作成なども一緒に行なっています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	近所への散歩 ドライブやレクレ ーションの外出行事など 出来るだけ 外に出るよう支援しています。 家 族さまに協力をして頂き、外出・外 食などして頂いております。	職員は利用者が日々自由に散歩が できるように支援しているほか、利用 者自身で郵便局に行ったり職員の外 出に同行できるように支援をしてい る。 利用者の希望にそって墓参りに職 員が付き添うなど、個別の外出支援 もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	現在 利用者様がお金を所持してい る方は、いませんが、希望があれば 希望に添うよう支援していきます。 昨年まで 希望があり所持していた 方がおりました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	本人の希望があれば、対応していま す。 押し花教室で作成した年賀 葉書を家族様に出しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	居室のドアに花を飾り、フローアに ソファを置き、テレビを見たり、 くつろげるスペースを作り、季節の 花を飾るなど行なっている。	事業所内は清掃が行き届き清潔に 保たれている。 廊下や食堂には行事のスナップ写 真や利用者が制作した季節の作品が 飾られている。 食堂や居間のテーブルに季節の花 が飾られている。 ベランダに植物でグリーンカーテ ンを作り、清涼感を演出している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファが有り、エレベーター前に椅子が置いて有り日向ぼっこなど思い思いに過ごすことができます。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自宅で使用していた物を用意して頂いています。転倒 転落を助長する配置を避け、整理整頓に気を配っています。	持ち込み品の制限は無く、利用者は自宅で使っていた馴染みの家具や趣味の道具を配置して、居心地よく暮らせるように工夫をしている。 居室にベッドは備え付けておらず、利用者が自宅で使用していた寝具を持ち込んでもらい、安眠できるように配慮をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自ら掃除に取り掛かれるようモップの位置を決めています。一人一人の役割を大切に支援しています。			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 花水木岩瀬館

作成日 平成24年1月6日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束に関して、その場その場で話し合い確認しあっている状態である。	定期的に研修会を開くと共に、マニュアル作成に結びつけていきます	年1回から3回の実践を交えた勉強会を通し マニュアル作成に繋げていく	10ヶ月
2		個別記録に細かい部分まで記入されていない状況である。	利用者様が発した言葉や行動を個別記録以外に、職員が記入し見やすい方法を考える	主任 ケアマネ等と一緒に考えていく	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。